岡山市立建部小学校　学校だより　令和5年　10月　発行

たけべ小だより

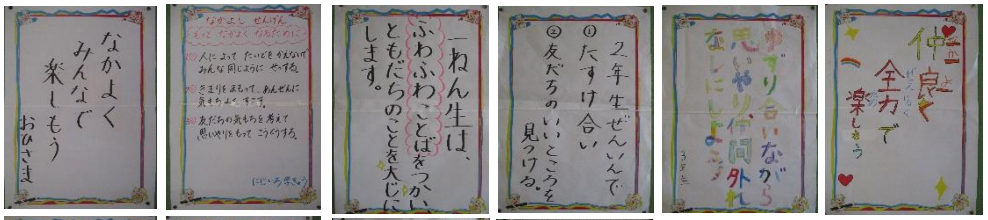
た　楽しむ子
け　元気な子
べ　勉強する子

10月号

岡山市北区建部町富沢366番地　086-722-0073　文責:校長

10月10日～23日　建部小学校人権週間

１７日の人権参観日ではご参観及び学級懇談へのご参加ありがとうございました。４年生の保護者の皆様方には急な日程変更となり、大変ご迷惑をおかけしました。
本校では１０月１０日～２３日を人権週間とし、人権に関する様々な取組を行いました。
１６日には「なかよし集会（人権集会）」を行いました。人権を身近にとらえ各学級で話し合って決定した「なかよし宣言」の発表がありました。また、なかよし班（縦割り班）による遊びを各班で計画し楽しく全校で交流しました。教室ではみんなのよいところを木の実に見立てて「やさしさの木」を一杯にしようと、各学級で掲示物を作成しました。



↑各学級の「なかよし宣言」
みんなで実行していこう！！

←各学級とも「やさしさの木」
たくさんの実がついています！

←今週の生活目標

人権週間とは・・・
昭和２３年（１９４８年）１２月１０日、国連において世界の全ての人々と全ての国々とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されました。これを記念して、１２月１０日は「人権デー」とされ、世界中で人権擁護活動を推進するための行事が行われています。
法務省の人権擁護機関では、昭和２４年（１９４９年）から、毎年１２月１０日を最終日とする１週間を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに、人権尊重思想の普及高揚に努めてきました。　法務省Webより

１０月３日～４日、５・６年生「海の学校」！！

「海の学校」での活動を振り返ろう！
■どんなことが心に残りましたか。
◎カッターです。なぜならみんなで声や動きを合わせて１つになれたと思ったからです。（多数）
◎友だちと協力したこと。
◎海にいろいろなゴミが捨てられていたこと。
■海の学校で学んだことをこれからの学校生活でどのように生かしていこうと思いますか。
◎１人ではできないことでも協力さえすれば１人でやるより早くできる。（多数）
◎１人でできないときは友だちにたよろうと思った。
◎ゴミの問題がわかったので川にゴミを捨てないようにしなければならない。

１０月６日、１・２年生「校外学習」池田動物園、御津スポーツパーク

廊下には、１・２年生が校外学習の様子をかいた絵日記が掲示されています。子どもたちがそれぞれ思い出に残ったことを文章と絵で表現しています。みんな絵がとても上手なことに感心しました。

こうがいがくしゅうにいったよ！！（絵日記より）
◎レッサーパンダのけはさわったらふさふさだとおもいました。くーくーとねていました。
◎ねているカワウソがかわいかったです。くらべるとわたしのほうが大きかったです。
◎フラミンゴがちょっとはねをうごかしてとんでたところがかわいかったです。
◎いろいろなどうぶつたちがいました。かわいかったです。またかぞくといきたいです。
◎くじゃくの色がきれいだったよ。くじゃくの色は青やちゃいろやみどりだったよ。
◎チンパンジーのつめがすごく長かったよ。うごきが人間みたいだったよ。

１０月２５日、３・４年生「校外学習」県立博物館、岡山城、後楽園
１０月２６日、５年生「校外学習」三菱自動車工業水島製作所、ライフパーク倉敷

県立博物館では学芸員の方より瀬戸内海沿岸の地形について、何万年も前から現在に至るまでの変化について説明いただきました。また江戸時代から昭和初期に使われていたアイロンの歴史についても実物に触れながら説明していただきました。岡山城は昨年リニューアルされたばかりで様々な展示物から現在に至るまでの岡山の歴史を学びました。
５年生は社会科で自動車工業に関する内容を学んでいるところです。臨場感あふれる自動車の生産ラインを見学することで、既習の学習内容がより深められたのではないかと思います。

県立博物館常設展示の見学　県立博物館学芸員からの説明　三菱自動車工業水島製作所内見学　ライフパーク倉敷内科学体験

オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン

こども家庭庁では毎年11月に「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施し、家庭や学校、地域等の社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、期間中に児童虐待防止のための広報・啓発活動など種々な取組を集中的に実施しています。　こども家庭庁Webより

「子どもたちに身につけてほしいこと」
先日のなかよし集会で「みなさんに身につけてほしいことは、挑戦をすることです。」と話しました。自分と他の人とを比べて、できないということばかり気にしていると、自分に自信がなくなってしまいます。自分の得意・苦手、好き・嫌いを自分自身で考えながら、何かをやってみて、もしも失敗しても、そのことでくよくよせずに、もう一度挑戦してください。挑戦を続けていくことが大切です。
【校長室より】